

ウッドシティ TOKYO モデル建築賞 応募用紙

1 応募者

- ・ 連名での応募の場合、連名応募者の情報も記載してください。
（書ききれない場合は、適宜表を追加ください）
- ・ 「区分」は、該当する項目の□にチェックを入れてください。

代表応募者	区 分		☐ 施主（所有者） ☐ 設計者 ☒ 施工者			
	法 人 名		〇〇〇〇工務店			
	代 表 者		役職	代表取締役	氏名	〇〇〇〇
	代表応募者住所		〒〇〇△―▽〇△〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号			
	連絡先情報	担当者	所属	〇〇部〇〇課〇〇係	氏名	〇〇〇
		住 所	〒〇〇△―▽〇△〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号			
		電 話	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			
		Email	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇.〇〇			
連名応募者1	区 分		☐ 施主（所有者） ☒ 設計者 ☐ 施工者			
	法 人 名		〇〇〇〇設計			
	代 表 者		役職	代表	氏名	〇〇〇〇
	連名応募者住所		〒〇〇△―▽〇△〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号			
	連絡先情報	担当者	所属	〇〇部〇〇課〇〇係	氏名	〇〇〇
		住 所	〒 同上			
		電 話	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			
		Email	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇.〇〇			
連名応募者2	区 分		☒ 施主（所有者） ☐ 設計者 ☐ 施工者			
	法 人 名		〇〇〇〇			
	代 表 者		役職	代表取締役	氏名	〇〇〇〇
	連名応募者住所		〒〇〇△―▽〇△〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号			
	連絡先情報	担当者	所属	〇〇部〇〇課〇〇係	氏名	〇〇〇
		住 所	〒 同上			
		電 話	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			
		Email	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇.〇〇			

2 応募作品

- ・ 応募区分が木質空間の場合、(4)及び(7)の記載は不要です。
- ・ 「(1) 応募区分」は、該当する項目の□にチェックを入れてください。

(1) 応募区分	☒ 木造及び混構造建築物 ☐ 木質空間	
(2) 応募作品	名 称	〇〇〇〇
	所在地	〒〇〇△―▽〇△〇 東京都〇〇区〇〇町〇〇丁目〇番〇号
(3) 竣工年月日又は 木質化完了日	令和3年8月10日	
(4) 構造・構法	鉄筋コンクリート造	
(5) 用途地域	商業地域	
(6) 防火地域	防火地域	
(7) 建築面積	〇〇㎡	
(8) 延床面積	〇〇㎡	

3 応募作品に係る女性の活躍（女性活躍賞）

- ・ 応募作品の建築等の過程で女性が活躍している場合は、その活躍の具体的な内容をできるだけ詳しく記載してください。本項目への記載がある場合のみ、女性活躍賞の選定対象となります。

(1) 活躍者名（活躍者が複数に及ぶ場合は、グループ名及び代表者名を記載ください。）

〇〇〇〇プロジェクト リーダー △△△△

(2) 活躍内容

本施設は、最寄駅や商業施設の集合した地域に位置し、「近隣住民の憩いの場」をコンセプトに建てられたものである。本施設の所在する地域は、子育て世代が多いこともあり、子育て世代をプロジェクトの中心に据えて事業の推進に努めた。そのような中、「木の温かみのある空間を実現したい」という思いから、女性プロジェクトリーダーが積極的に施設への木の活用を推進し、本施設は鉄筋コンクリート造でありながら、その内装は木質感あふれるものとなった。

4 オフィスの木質化について（オフィス木質化賞）

- ・ 応募作品をオフィス木質化賞にエントリーする場合は、木質化の状況をできるだけ詳しく記載してください。本項目への記載がある場合のみ、オフィス木質化賞の選定対象となります。

※ 応募区分が「木造及び混構造建築物」でも、オフィス内部の木質化を行っていれば、選定対象となります。

オフィスの木質化の状況

（木質化した部分の詳細、 木質化に当たって工夫した点 等）

本施設は、働き方の多様化に伴い、内装の見直しと合わせて、木質化を行った。木質化に当たっては、社員のストレス軽減と、作業効率の向上を目的とし、デザインを行った。社員からは、「オンオフの切り替えがしやすく快適である」「新しいアイデアを生み出すことができた」等の声があがっており、機能性としても有効である。

また、メインの内装座に多摩産材を使用することで、地域の森林循環に貢献するとともに、社員の環境意識の醸成にもつながっている。

5 応募作品の趣旨説明文（600 字以内で応募作品情報の内容と同趣旨にて記載してください。）

本施設の立地場所は防火地域に位置することから、4 階層となる本施設については、耐火建築物とする必要性があった。

一方、本施設については、「木の温かみのある空間の実現」を目指していたこともあり、内装木質化のみならず、柱や梁といった構造部分についても木を顕しで使用したいという想いもあり、今回それを両立する手段として鋼材に集成材を被覆するハイブリッド集成材を使用した。

また、内装材においても、積極的に木材を使用しており、「木の温かみのある空間の実現」が出来たのではないかとと思われる。

6 使用木材

- ・ 国産材、外材にかかわらず、分かる範囲でできるだけ詳しく記載ください。
- ・ 書ききれない場合は、欄を追加してください。
- ・ (1)の「証明書添付」の欄は、該当するものについて、□にチェックを付けてください。

国産材使用量 (①)	〇〇m ³
外材使用量 (②)	〇〇m ³
木材使用総量 (①+②)	〇〇m ³

(1) 国産材内訳

使用部位	樹種	仕様等	産地	証明書添付	m ³ 数
構造材 柱	カラマツ	ハイブリッド集成材 鋼材に被覆 地域認証材を使用	長野県	☒ 有 ☐ 無	〇〇m ³
外装材 ルーバー	スギ	不燃処理 地域認証材を使用	東京都	☒ 有 ☐ 無	〇〇m ³
内装材 天井	エゾマツ	不燃処理合板	北海道	☒ 有 ☐ 無	〇〇m ³
内装材 床・壁	ヒノキ	不燃処理 地域認証材を使用	岐阜県	☒ 有 ☐ 無	〇〇m ³
什器 受付テーブル	サワラ	地域認証材を使用	東京都	☒ 有 ☐ 無	〇〇m ³
				☐ 有 ☐ 無	
				☐ 有 ☐ 無	
				☐ 有 ☐ 無	
				☐ 有 ☐ 無	
				☐ 有 ☐ 無	

(2) 外材内訳

使用部位	樹種	仕様等	産地	m ³ 数
構造材 梁	バイマツ	ハイブリッド集成材 鋼材に被覆	カナダ	〇〇m ³